学校番号	208

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「世界史Ａ」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象に「なぜ」「どうして」の観点を持ち、歴史の流れを感じることで考える力を身につける。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在または未来の日本について考える。
・過去の先人たちが行動した足跡をたどり、人間とはなにかを学び、それにより自分を高め、豊かな人間性を身につける。

2　学習の到達目標

・近現代史を中心とする世界の歴史について理解する。
・諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら、現代の諸課題を歴史的観点から考察する。
・歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を「なぜ」「どのように」の観点から高め、歴史上の諸課題について問題意識を持って意欲的に追究しているか。 ・歴史上の諸課題について追究してきたことを通して、国際社会の一員また日本国民の一員として現代の諸課題に主体的に関わろうとする態度を身に付けているか。	・近現代史を中心とする世界の歴史から課題を見いだし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察しているか。 ・その諸課題について歴史的観点から考察したり判断したりした過程や結論を、様々な方法で適切に表現しているか。	・近現代史を中心とする世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表にまとめたりできるか。 ・資料や情報を効果的に活用することを通して歴史的事象について追究する学び方を身に付けているか。	・近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な知識を身に付けているか。 ・近現代史を中心とする世界の歴史について、どのような過程でそうなったかを地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているか。
評価方法	ワークシート レポート 振り返りシート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界史へのいざない	・風土がはぐくむ人々の暮らし ・妙なる楽の音　日本列島へ	○	 ○	 ○	○ ○	a:自然環境と世界の歴史、日本の歴史のつながりを見いだし、それに関わる主題を意欲的に考察し、地理と世界への関心を高めようとしているか。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現しているか。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりできているか d:設定された主題について、1年次に学んだ地理的条件や日本の歴史と関連付けながら考えながら理解し、またその知識を身につけているか。	定期考査 ワークシート
	ユーラシアの諸文化と交流	・文明のはじまり ・ユーラシア諸文明の特質 ・ユーラシアの交流	 ○	○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○	a:なぜユーラシア各地に諸文明が形成されたのか、またその特質を理解し、ユーラシアの交流について関心を高め、意欲的に追求しようとしているか。 b:ユーラシア諸文明と交流の特質を見いだし、地域世界相互の文化変容などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現しているか。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりできているか。 d:どのような過程でユーラシア各地に諸文明が形成され、そこの交流の特質について理解し、またその知識を身に付けているか。	定期考査 ワークシート

2学期	むすびつく世界と日本・近代のヨーロッパ・アメリカと世界の変動	・世界の一体化の第一歩 ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパの主権国家体制 ・アジアの繁栄 ・世界経済体制の形成 ・産業革命と工業化社会の成立 ・アメリカ独立戦争 ・フランス革命とナポレオン戦争	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:なぜ大航海時代や、ルネサンス、宗教改革、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄産業革命、アメリカ独立戦争、フランス革命、ナポレオン戦争などが起こっていったのかについて関心を高め、意欲的に追究しようとしているか。 b:設定された時代の諸地域の特質を見いだし、世界商業の進展などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現しているか。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりできているか。 d:どのような過程で大航海時代、ルネサンス、宗教改革、ヨーロッパの主権国家体制の成立、アジアの諸帝国の繁栄、アメリカ独立戦争、フランス革命、ナポレオン戦争などが起こったのかについて理解し、またその知識を身に付けているか。	定期考査 ワークシート

3学期	近代のヨーロッパ・アメリカと世界の変動・地球社会と日本	・ウィーン体制とその崩壊 ・ヨーロッパ国民国家の発展 ・二つの世界大戦 ・第二次世界大戦後の世界と日本	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:なぜウィーン体制の成立と崩壊、二つの世界大戦、冷戦などが起こっていったのかについての関心を高め、意欲的に追究しようとしているか。 b: 設定された時代の諸地域の特質を見いだし、今まで学習した歴史内容や地理的特徴などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現しているか。 c: 必要な諸資料を自ら収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりできているか。 d: 設定された主題について、どのような過程で起こっていったのかについて理解し、またその知識を身に付けているか。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。